

# 令和8年新年あいさつ

一般社団法人全国技能士会連合会会長

大関 東支夫



午(うま)年は「飛躍、前進、挑戦」の年

明るい未来に向けて駆け抜ける年にしましょう

新年あけましておめでとうございます。2026年、午年の幕開けにあたり全国技能士会連合会の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

昨年、日本初の女性総理大臣・高市早苗新首相が誕生しました。所信表明演説において「元気な日本経済と産業の復興」を力強く掲げられたことは、ものづくりに携わる私たち技能士にとって大きな励みとなりました。

日本が元気だったころを思い浮かべると分かります。日本の活力は、地方の元気なものづくりに支えられていました。技能士はその大きな担い手になっていたのです。しかし、長引く円高の影響でものづくりの拠点が海外へと移り、技術や技能の流出を招いた結果、「失われた30年」とも呼ばれる時代を経験することとなりました。ものづくりの強弱が、日本経済の隆盛、衰退の根幹であることを、私たちは改めて痛感しています。

現在、経済を左右する技能士の不足は深刻です。ものづくりの現場のみならず、日常生活、災害復興の現場にも影響を及ぼしています。こうした状況の中、技能士会の果たすべき役割は明確です。次代を担う若者たちに、技能の魅力と誇りを伝え、志ある人材を育てていくことが、私たち技能士会の使命です。

2026年(令和8年)は午(うま)年です。馬は古来より「力・速さ・忠誠心」の象徴とされています。このため午年は「変化を恐れず挑戦する年」「行動力と独立心を促す年」とも言われます。本年2月には技能グランプリが大阪で開催されます。2028年には愛知県で技能国際世界大会が待っています。私たち技能士会も「飛躍」「前進」「挑戦」の年にしていきたいと思います。

本年も特別顧問の堀内詔子衆議院議員(現:総務副大臣)、特別相談役の田畠裕明衆議院議員のご助言、ご支援をいただきながら、全国技能士会連合会の皆様と力を合わせて明るい未来へ向かって挑戦し駆け抜けていきましょう。

皆様のご健勝とご多幸を心より祈念しています。

